Ⅰ．商店街の現状について

1．商店街の組合員（会員）数とその変化

（1）商店街組織の組合員（会員）数

振興組合	商店会
333　人	493　人

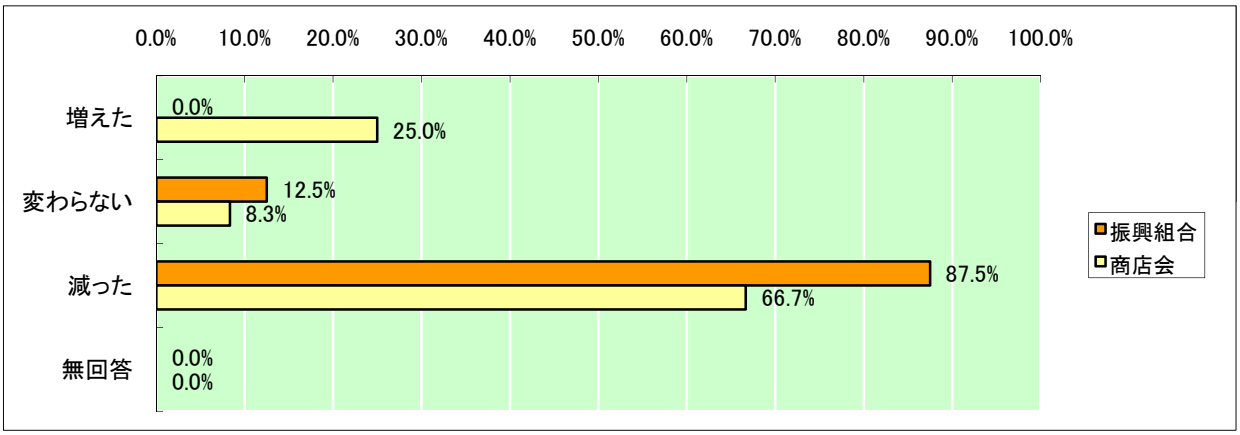
■ 振興組合の平均会員数は、41.6人。

□ 商店会の平均会員数は、41.1人。

（2）商店街の3年前と比較した組合員（会員）数の変化

・ 商店街の3年前と比較した組合員（会員）数の変化については、「減った」と回答した振興組合が87.5%、商店会が66.7%となっており、多くの商店街で組合員（会員）が減少している。
なお、「増えた」と回答した商店会は、3団体となっている。（図1）

「図1　3年前と比較した組合員（会員）の変化」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（3）商店街全体の店舗数

振興組合	商店会
371　店舗	482　店舗

■ 振興組合の平均店舗数は、46.4店舗。

□ 商店会の平均店舗数は、40.2店舗。

・ 平均会員数より少ないのは、店舗を持たない企業等が会員となっていることが要因と推測される。
（次頁表1　商店街全体の店舗数）

「表1　商店街全体の店舗数」(H22年度:振興組合N=8商店会N=12)

商店街振興組合	店舗数	商店会(任意団体)	店舗数
室蘭浜町商店街振興組合	43	祝津商店会	18
室蘭中央町三丁目商店街振興組合	19	北辰商店会	30
輪西商店街振興組合	80	幕西商店会	9
東室蘭商店街振興組合	70	大町商店会	48
中島中央商店街振興組合	21	室蘭市中央町東銀座商店会	60
中島西口商店街振興組合	63	母恋北町商店会	30
なかじま商店街振興組合	35	母恋南町商店会	28
シャンシャン共和国商店街振興組合	40	室蘭中島商店会	84
		知利別商店会	4
		高砂商店会	39
		蘭北商店会	93
		白鳥台中央自治商店会	39

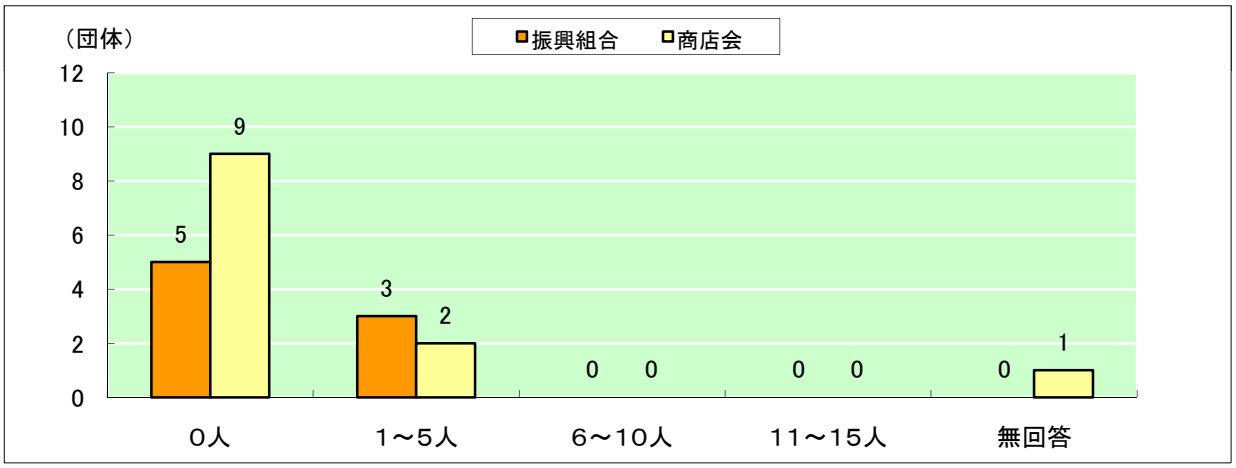
(4) 専従事務局員(パート含む)数 ……

振興組合	商店会
6　人	8　人

■ 振興組合の平均専従事務局員数は、0.75人。いない「0人」とする振興組合が5団体(62.5%)となっている。

□ 商店会の平均専従事務局員数は、0.67人。いない「0人」とする商店会が9団体(75.0%)となっている。(図2)

「図2　専従事務局員(パート含む)数」(H22年度:振興組合N＝8:商店会N＝12)



2. 商店街の店舗数の変化

（1）3年前と比較した店舗数の変化

■ 振興組合の3年前と比較した店舗数の変化については、全体では35.7%が減ったと回答している。減少した業種は、「飲食店」(50.0%)、「サービス店」(50.0%) が最も多く、「衣料品・身の回り品」(37.5%)、「最寄品小売店」(37.5%) となっている。
一方、店舗が増加した業種は 「不動産業」(37.5%) が最も多くなっている。(表2－1)

「表2－1 振興組合の最近3年間の店舗数の変化」(H22年度：振興組合N=8)

	増えた	変わらない	減った	不明
デパート・大型店	0	3	2	3
衣料品・身の回り品	0	4	3	1
最寄品小売店	1	3	3	1
飲食店	2	2	4	0
ｻｰﾋﾞｽ店	0	4	4	0
不動産業	3	2	0	3
その他	1	1	4	2
合計	7	19	20	10

増えた	変わらない	減った	不明
0.0%	37.5%	25.0%	37.5%
0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
12.5%	37.5%	37.5%	12.5%
25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
37.5%	25.0%	0.0%	37.5%
12.5%	12.5%	50.0%	25.0%
12.5%	33.9%	35.7%	17.9%

□ 商店会の3年前と比較した店舗数の変化については、全体では、33.3%が変わらないと回答している。店舗が増加した業種は 「飲食店」(25.0%) が最も多くなっている。(表2－2)

「表2－2 商店会の最近3年間の店舗数の変化」(H22年度：商店会N=12)

	増えた	変わらない	減った	不明
デパート・大型店	1	2	0	9
衣料品・身の回り品	1	4	1	6
最寄品小売店	1	4	2	5
飲食店	3	3	2	4
ｻｰﾋﾞｽ店	0	8	0	4
不動産業	0	4	0	8
その他	0	3	2	7
合計	6	28	7	43

増えた	変わらない	減った	不明
8.3%	16.7%	0.0%	75.0%
8.3%	33.3%	8.3%	50.0%
8.3%	33.3%	16.7%	41.7%
25.0%	25.0%	16.7%	33.3%
0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
0.0%	33.3%	0.0%	66.7%
0.0%	25.0%	16.7%	58.3%
7.1%	33.3%	8.3%	51.2%

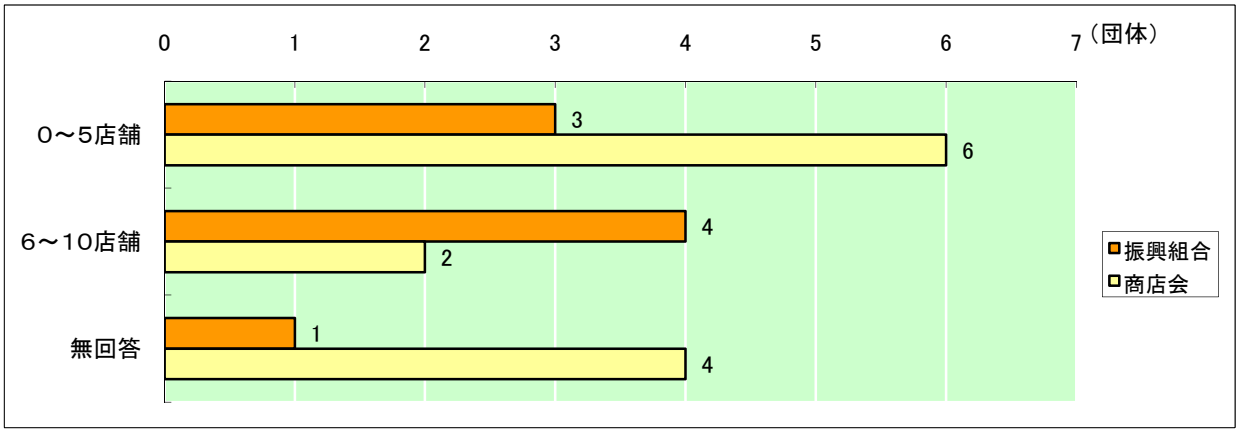
（2） 3年前と比較した退店（廃業）店舗数

振興組合	商店会
40 店舗	25 店舗

■ 振興組合の3年前と比較した退店（廃業）店舗数は、全体で40店舗、1組合当たり5店舗が閉じている。

□ 商店会では、全体で25店舗となっており、1商店会当たり2.1店舗が閉じている。(次頁図3)

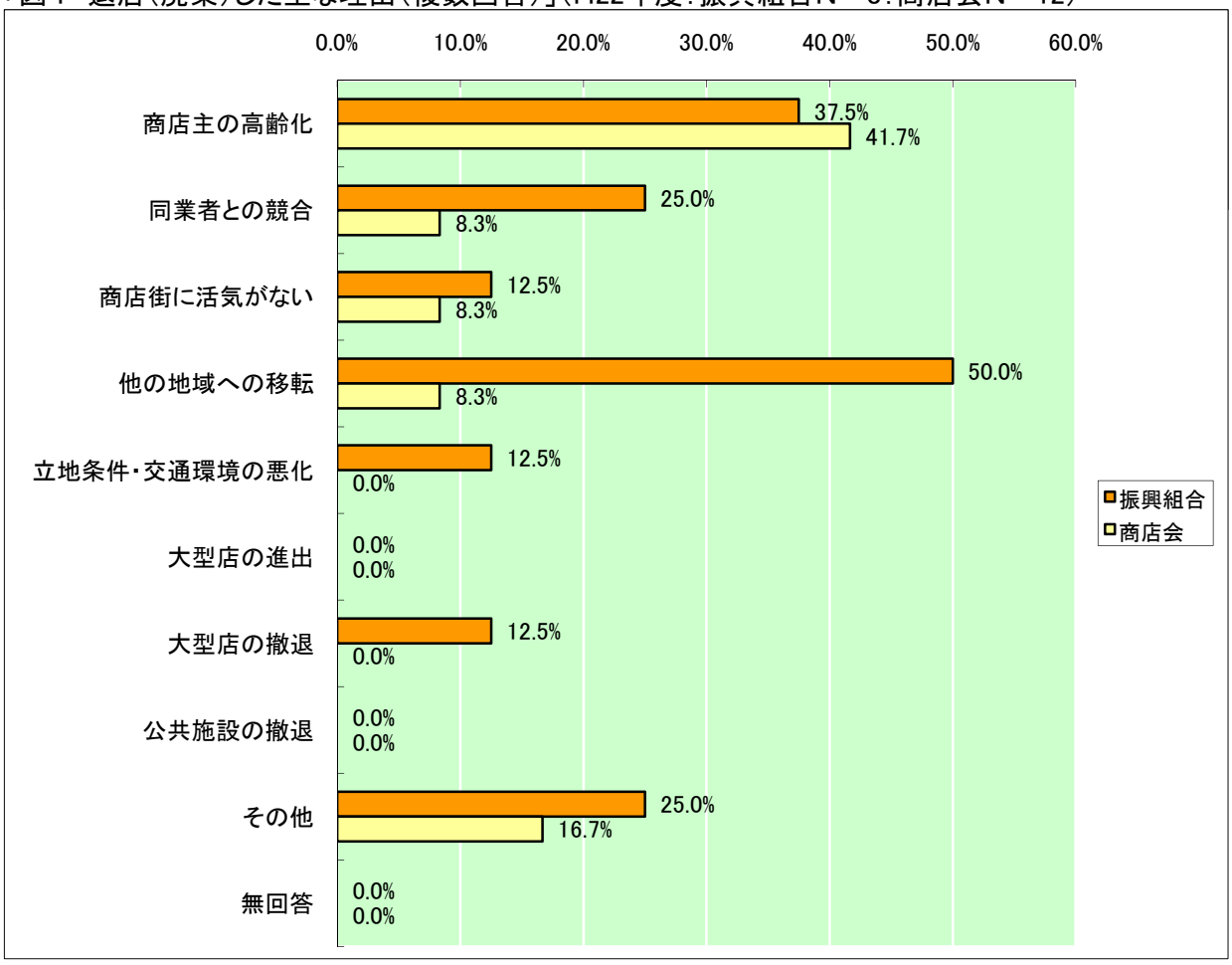
「図3　商店街の退店（廃業）店舗数」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（3）　退店（廃業）した主な理由

■ 振興組合で退店（廃業）した主な理由については、「他の地域への移転」（50.0%）　が最も多く、次いで　「商店主の高齢化」（37.5%）、「同業者との競合」（25.0%）　となっている。半数を超える回答はなく、退店（廃業）理由は様々である。（図4）

「図4　退店（廃業）した主な理由（複数回答）」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）

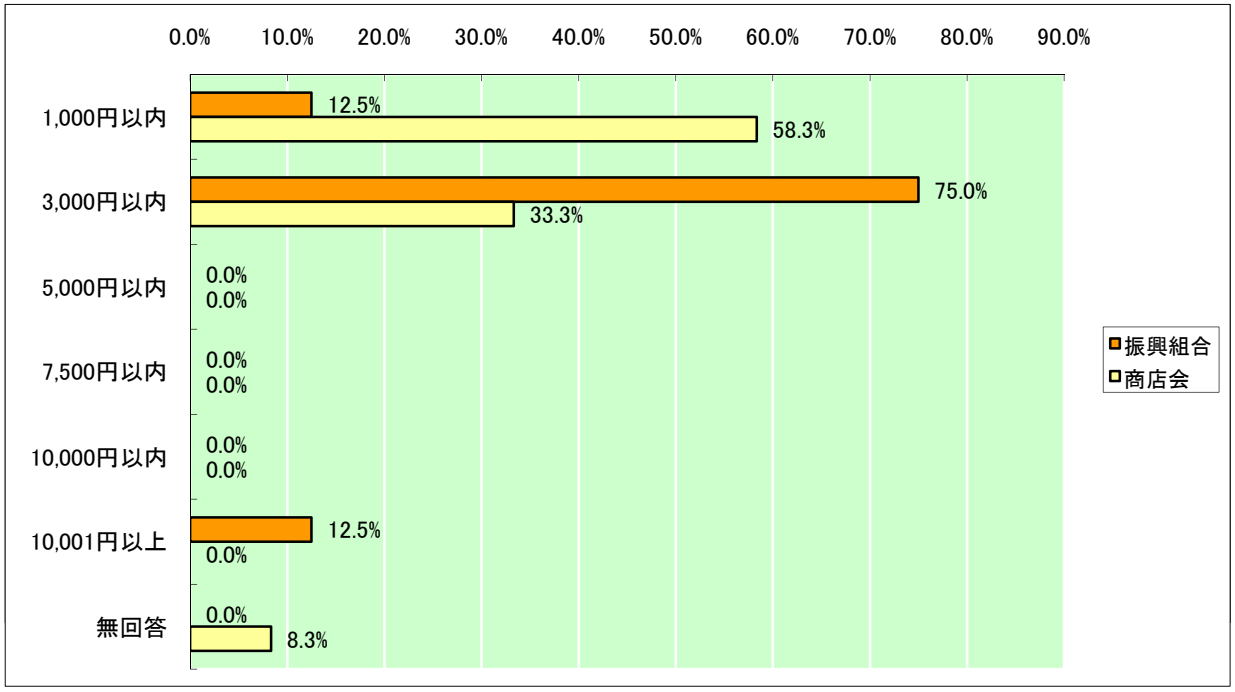


3. 商店街の組合費とその変化

（1）組合員（会員）の月額平均組合費

・ 組合員（会員）の月額平均組合費については、振興組合が 「3,000円以内」（75.0%）、 商店会が「1,000円以内」（58.3%） が過半となっており、振興組合、商店会共に 「3,000円以内」 が9割を占めている。（図5）

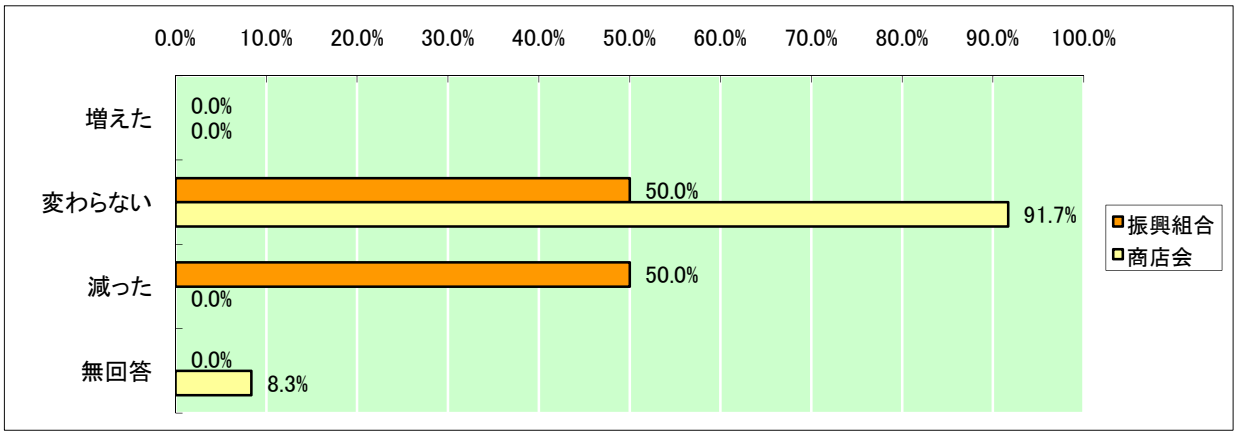
「図5 組合員（会員）の月額平均組合費」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（2）3年前と比較した組合費の変化

・ 3年前と比較した組合費の変化については、振興組合が 「変わらない」（50.0%）、「減った」（50.0%） となっており、 商店会では 「変わらない」 が90%を超えている。（図6）

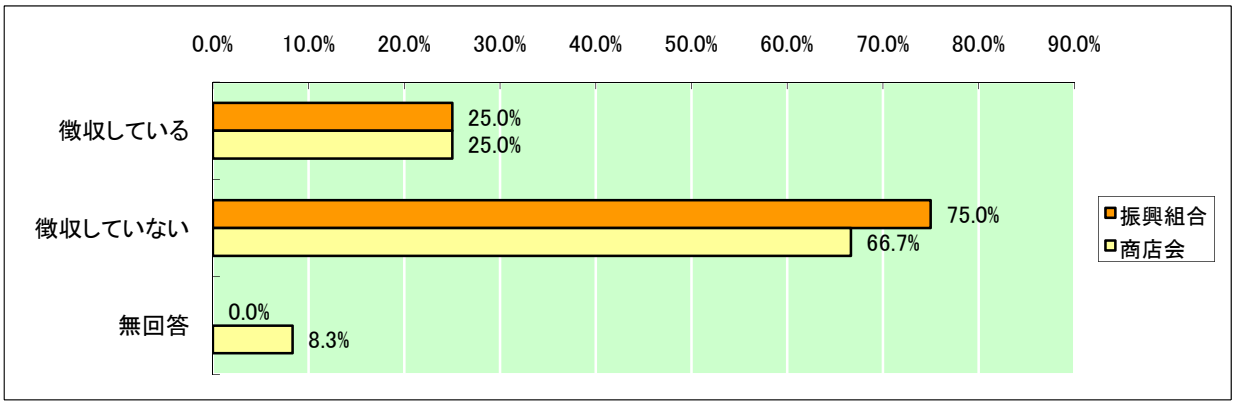
「図6 3年前と比較した組合費の変化」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（3）組合費以外の事業活動費の徴収調査

・ 組合費以外の事業活動費の徴収については、組合費以外の徴収を行っていない振興組合が75.0%、商店会が66.7%となっている。（図7）

「図7　事業活動費の徴収」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）

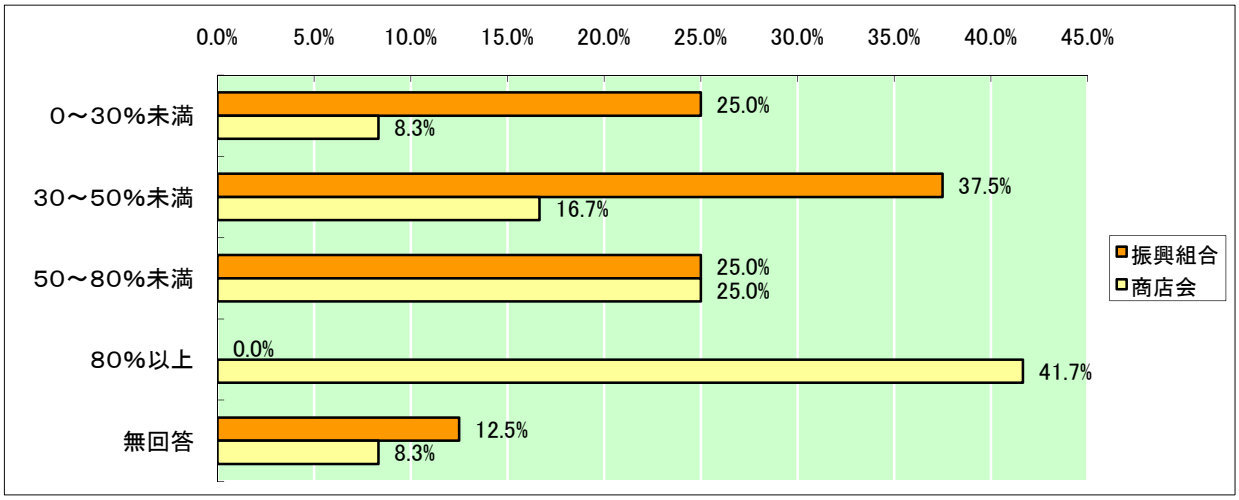


4. 商店街の店舗居住率

■ 振興組合では、「30～50%未満」（37.5%）と「0～30%未満」（25.0%）を合わせると、居住している店舗が半数未満である振興組合が、6割を超える。

□ 商店会では、「80%以上」（41.7%）と「50～80%未満」（25.0%）を合わせると、居住している店舗が半数以上である商店会が、6割を超える。（図8）

「図8　店舗居住率」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）

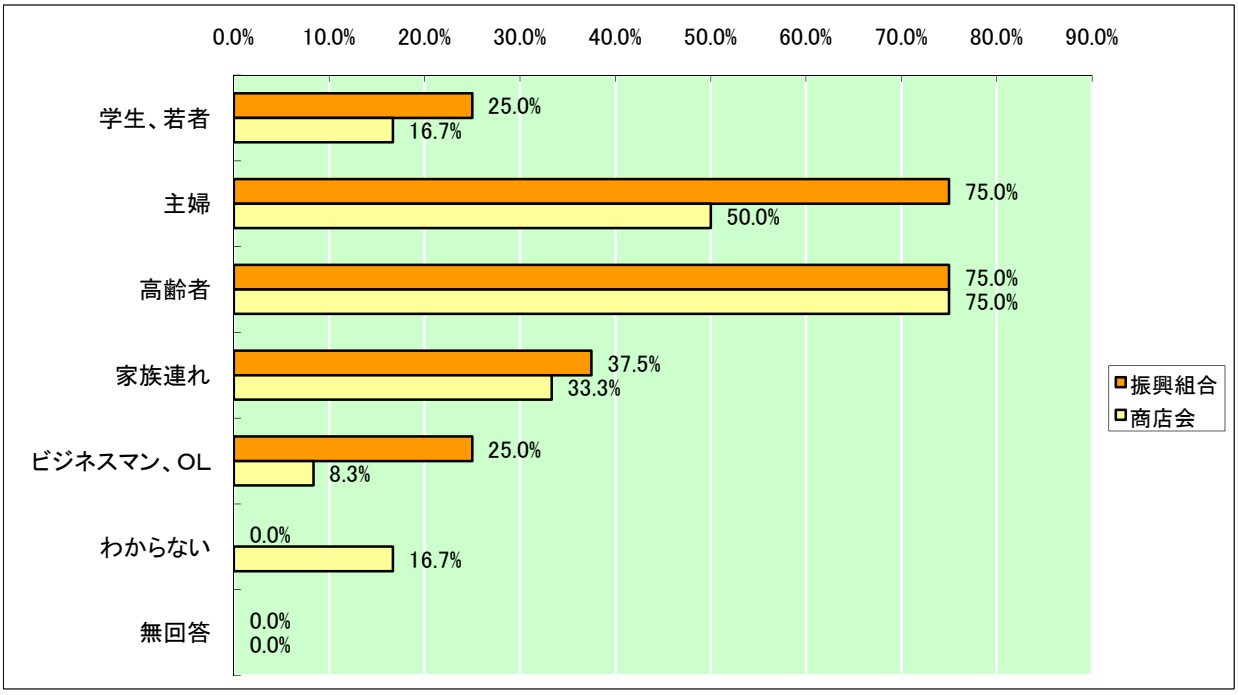


5. 商店街の中心顧客層と重視する来街者層

（1）商店街の中心顧客層

■ 振興組合の中心顧客層については、「主婦」（75.0%）、「高齢者」（75.0%）が最も多く、次いで「家族連れ」（37.5%）、「学生、若者」（25.0%）、「ビジネスマン、OL」（25.0%）と続いている。（次頁図9）

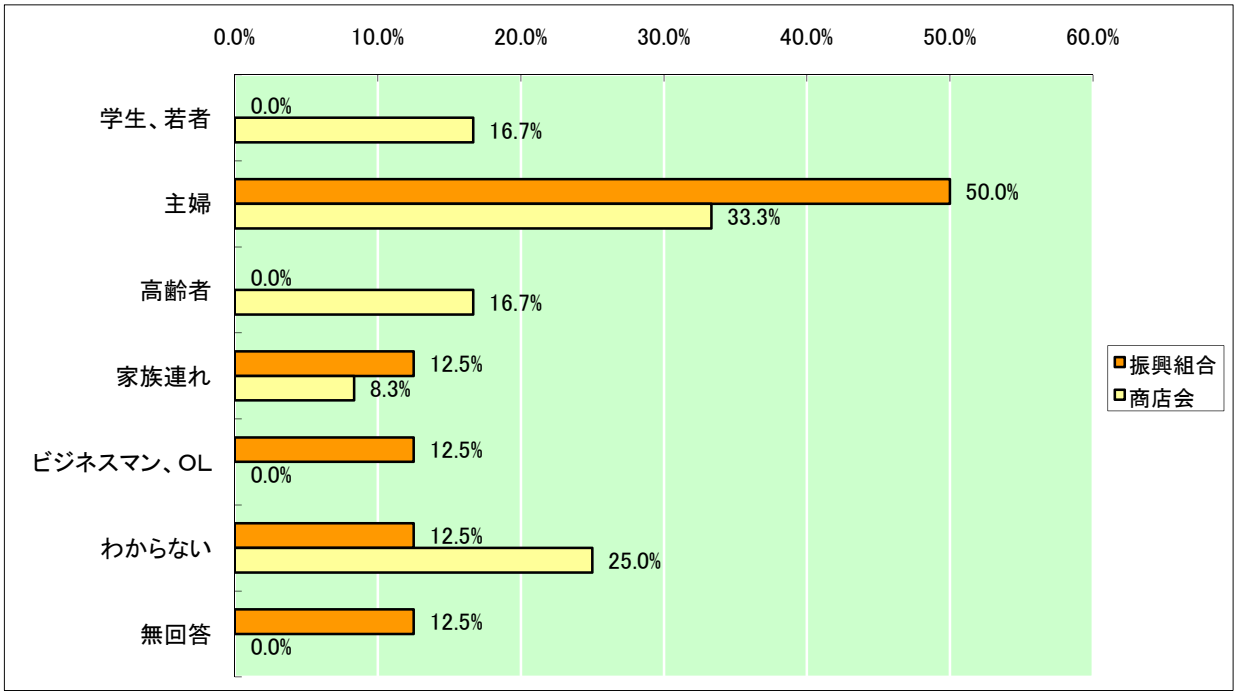
「図9　商店街の中心顧客層（複数回答）」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（2）今後最も重視していきたい来街者層

■ 振興組合の今後最も重視していきたいと考えている来街者層については、「主婦」（50.0%）が最も多く、次いで「家族連れ」（12.5%）、「ビジネスマン、OL」（12.5%）が続き、現在の中心顧客層である「主婦」を今後も重視していく傾向がみられる。一方、「高齢者」に対しては0.0%となっている。（図10）

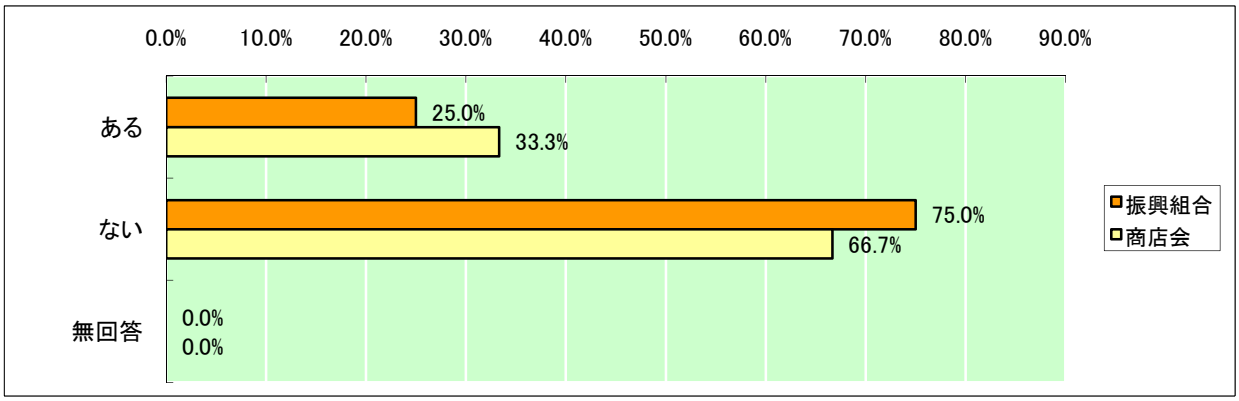
「図10　今後最も重視していきたい来街者層」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



6. 商店街の駐車場の状況

・ 商店街の駐車場の有無については、「ない」 と回答した振興組合が75.0%、商店会が66.7%となっており、多くの商店街に専用の駐車場がない。(図11)

「図11　商店街の駐車場の状況」(H22年度:振興組合N＝8:商店会N＝12)

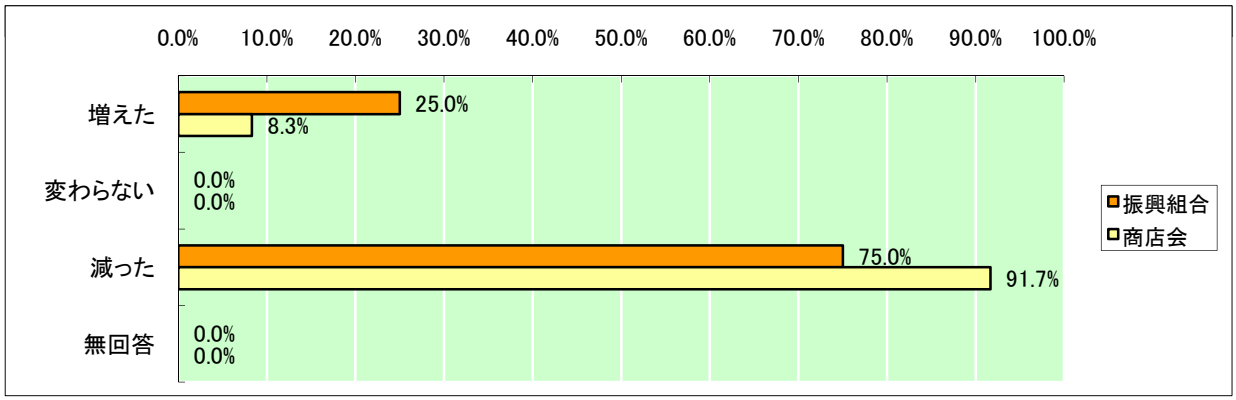


7. 商店街の来街者数

(1) 商店街の3年前と比較した来街者数の変化

・ 商店街の3年前と比較した来街者数の変化については、「減った」 と回答した振興組合が75.0%、商店会が91.7%となっており、多くの商店街で来街者が減少している。(図12)

「図12　商店街の来街者数の変化」(H22年度:振興組合N＝8:商店会N＝12)



(2) 来街者が増加した理由

■ 振興組合で来街者が 「増えた」(25.0%) と回答した2団体について、その理由をみると、「交通利便性の向上」、「業種・業態の充実化」、「施設・環境の充実」、「近郊への大型店の進出」などが挙げられている。

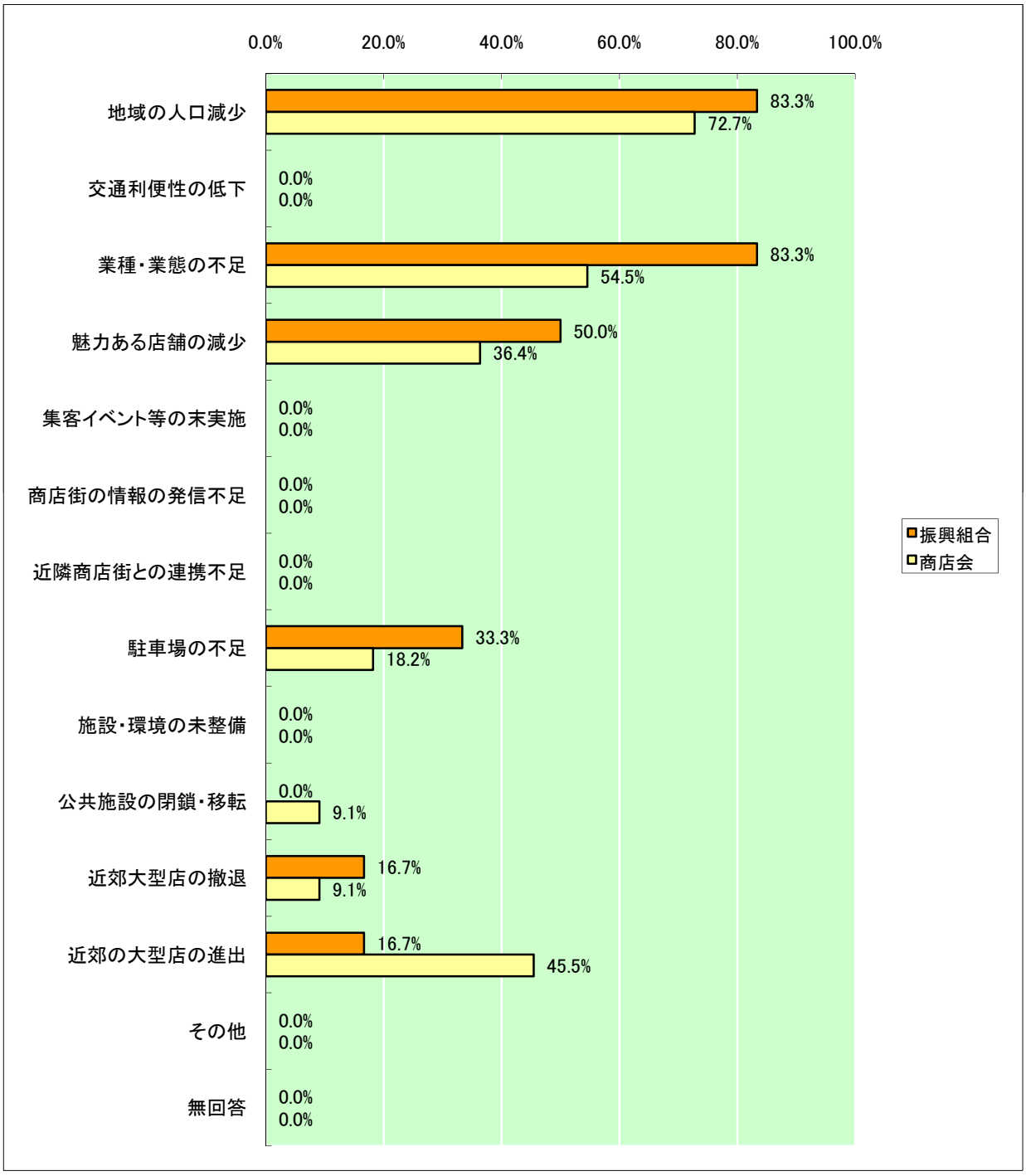
□ 商店会で来街者が 「増えた」(8.3%) と回答した1団体について、その理由をみると、「地域の人口増」、「交通利便性の向上」、「業種・業態の充実化」 などが挙げられている。

（3） 来街者が減少した理由

■ 振興組合で来街者が 「減った」(75.0%) と回答した6団体について、その理由をみると、「地域の人口減少」(83.3%)、「業種・業態の不足」(83.3%) が最も多く、次いで 「魅力ある店舗の減少」(50.0%)、「駐車場の不足」(33.3%) が挙げられている。

□ 商店会で来街者が 「減った」(91.7%) と回答した11団体について、その理由をみると、「地域の人口減少」(72.7%) が最も多く、次いで 「業種・業態の不足」(54.5%)、「近郊の大型店の進出」(45.5%) が挙げられている。(図13)

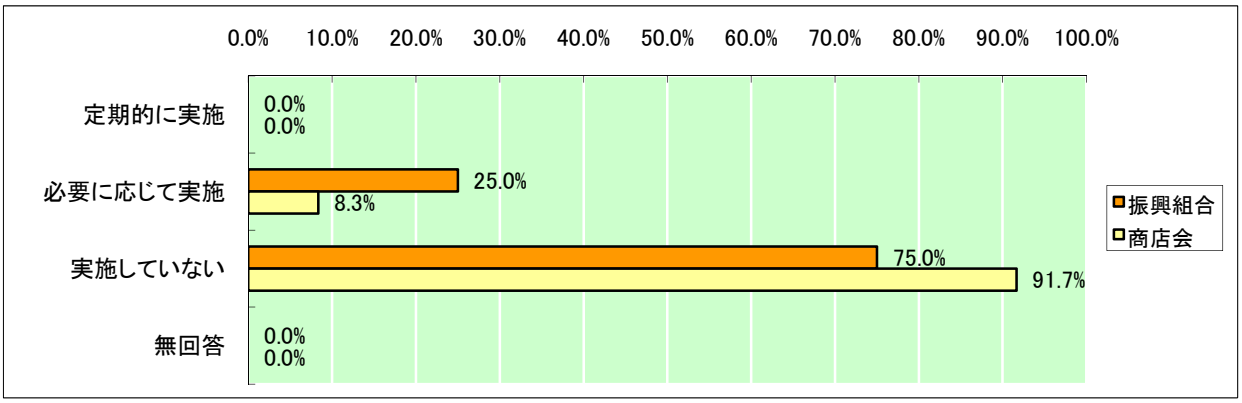
「図13 来街者数が減少した理由(複数回答)」(H22年度:振興組合N＝6:商店会N＝11)



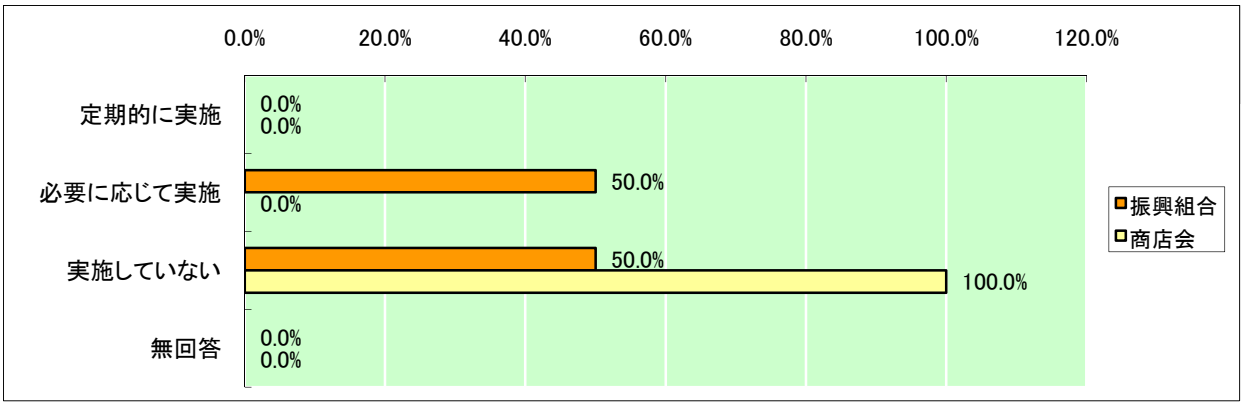
（4） 商店街に対する来街者のニーズ調査実施の有無

・ 商店街に対する来街者のニーズ調査の実施については、「実施していない」 と回答した振興組合が75.0%、商店会が91.7%となっており、多くの商店街で調査を実施していない。（図14）

「図14　来街者のニーズ把握調査」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



（5） 商店街の通行量調査

・ 通行量調査については、振興組合が 「必要に応じて実施」（50.0%）、「実施していない」（50.0%）となっており、商店会では12団体全てが 「実施していない」 となっている。（図15）

「図15　商店街の通行量調査」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）